

第8回「アルミニウムと健康」フォーラム開催のご案内

「アルミニウムと健康」連絡協議会では、11月14日（土）に第8回「アルミニウムと健康」フォーラムを開催いたします。今回は「認知症の予防 - 認知症のホットトピックス -」と題して、最新の情報をご提供いたします。どなたでもご参加できますので、ご家族ご友人お誘い合わせの上お申し込みください。

主催 : 「アルミニウムと健康」連絡協議会
アルミ缶リサイクル協会、(一社) 軽金属製品協会、(一社) 日本アルミニウム協会

日時 : 2015年11月14日（土） 13:00～16:30

場所 : 星陵会館（東京・永田町）
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

定員 : 370名

参加費 : 無料

申込方法 : 別紙の参加申込用紙に氏名・住所等必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申し込みください。後日主催事務局から参加証を発送させていただきます。

① E-mail による申込み :

kenkou-forum@alkyo.jp に申込用紙を添付の上お申し込みください。

② FAX による申込み :

FAX:03-3538-0233 (アルミニウムと健康連絡協議会事務局) まで、参加申込用紙を送付ください。

③ 葉書による申込み :

葉書に氏名、住所、電話番号等、別紙の参加申込用紙に記載のある事項をご記入の上、アルミニウムと健康連絡協議会事務局までご郵送ください。

【アルミニウムと健康連絡協議会事務局】

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル 7階

申込締切日 : 2015年11月6日（金）
定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お問合せ先 : アルミニウムと健康連絡協議会 事務局 川畑・越智
E-mail: kenkou-forum@alkyo.jp TEL 03-3538-0221

第8回「アルミニウムと健康」フォーラム
「認知症の予防 - 認知症のホットトピックス -」

プログラム

司会：順天堂大学大学院 客員教授 田平 武

1. 認知症とサプリメント

順天堂大学大学院 客員教授
岐阜・河村病院認知症診断・予防・治療センター長
お茶の水メモリークリニック医師
日本認知症学会認定認知症専門医
認知症の早期発見、予防・治療研究会代表世話人 田平 武

略歴：九州大学医学部卒、神経内科学専攻、医学博士、米国国立神経疾患・感覚器疾患・脳卒中研究所（NIH, NINCDS）留学、国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部部長、国立長寿医療センター研究所長
専門：神経内科学、多発性硬化症、アルツハイマー病、アルツハイマーワクチン

2. 認知症の予防：運動と認知トレーニング

医療法人創知会理事長 メモリークリニックお茶の水院長
東京医科歯科大学 特任教授 朝田 隆

略歴：東京医科歯科大学卒。甲府市立病院神経内科、山梨医科大学精神科勤務。オックスフォード大老年科留学、国立精神神経センター勤務、2001年筑波大学精神医学教授、厚生労働省研究で全国の若年性認知症および認知症患者の有病率調査を実施。また認知症生活障害の研究開始、茨城県利根町研究から認知症発症を予測する血液マーカー発見。2014年東京医科歯科大学特任教授、今日に至る。
専門：アルツハイマー病の臨床一般、研究面では認知症の早期診断法・予防

3. 認知症の予防：栄養、特に油の取り方

昭和女子大学大学院生活機構研究科 教授
女性健康科学研究所 教授 兼務 福島 正子

略歴：昭和女子大学大学院食物栄養学専攻科修士課程修了、昭和女子大学食物栄養学専攻・研究助手、同専任講師、同生活科学部教授、同大学院生活機構研究科教授、女性健康科学研究所教授兼務
専門：食品学、食品衛生学、有機化学

4. iPS細胞を用いた神経疾患研究

京都大学 iPS細胞研究所 教授 井上 治久

略歴：京都大学医学部卒業。医学博士。住友病院神経内科勤務、国立精神・神経研究センター研究員、理化学研究所脳科学総合研究センター研究員、米ハーバード大学医学部マクリーン病院博士研究員、京大大学院医学研究科助手、京大 iPS細胞研究所准

教授などを経て、2014年より現職。
専門：幹細胞医学

5. 日本の認知症医療と介護 2015

大阪市立大学 名誉教授
日本認知症学会 名誉理事（前理事長）
大阪市立大学 大学院医学研究科 脳血管内治療・頭蓋底外科病態学寄附講座
特任教授
医療法人崇徳会・田宮病院 顧問 森 啓

略歴：大阪大学理学部生物学科卒業（理学士）、大阪大学大学院理学研究科生物化学（理学修士）、東京大学大学院理学研究科生物化学（理学博士：東京大学・博理 1111号）、福井県立短期大学第一看護学科助教授（生理学）、東京都老人総合研究所臨床生理学主査研究員、ハーバード大学ブリガムウーマンズ病院神経病センター研究員（神経科学部門）、東京都老人総合研究所神経生理学主査研究員、東京大学医学部助教授（脳神経病理学）、東京都精神医学総合研究所分子生物学室長、大阪市立大学医学部教授（脳・神経系分野）、大阪市立大学大学院医学研究科教授（脳神経科学）、大阪市立大学大学院医学研究科脳血管内治療・頭蓋底外科病態学寄附講座特任教授、医療法人崇徳会・田宮病院顧問

専門：脳神経科学、認知症医学研究、DIAN-J 臨床研究主任研究者、AMED プレクリニカル臨床研究主任研究者

6. ディスカッション （上記先生方による、会場からの質問含む）

<認知症の予防 - 認知症のホットトピックス - : オーバービュー>

順天堂大学大学院 客員教授
岐阜・河村病院認知症診断・予防・治療センター長
お茶の水メモリークリニック医師
日本認知症学会認定認知症専門医
認知症の早期発見、予防・治療研究会代表世話人

田平 武

今回のフォーラムは「認知症のホットトピックス」というテーマで話題を提供することになりました。我が国の認知症患者数は2013年に460万人と推計され、その予備軍400万人を加えると現在認知症900万人時代を迎えています。2025年には認知症患者数は700万人を突破し、予備軍を入れると1300万人を超えると予想されています。これは大きな社会問題となっており、先進国首脳会議サミットでもこの問題を取り上げ、世界をあげてその対策に取り組んでいます。

認知症とは記憶力や理解力、判断力、実行能力などの脳の高次機能が障害され、人の援助が必要となった状態を言います。認知症はすぐ忘れてしまう、日付が分からない、料理ができないといった症状の集まりであって（これを症候群といいます）、それを起こす病気は色々あります。中でもアルツハイマー病が最も多く、約70%を占めます。この他血管性認知症やレビー小体型認知症などがあります。

現在は認知症に対する根本的な治療薬はないので、認知症にならないように予防に努めるのがベストです。最近の研究からアルツハイマー病は発病の20-30年前から脳の病変がスタートすることが分かってきました。アルツハイマー病の発病は70歳代から増えてきますので、40-50歳代から予防に努める必要があるということです。

このフォーラムではまず認知症にならないためにはどのようなことに取り組めばよいかについて、とくに運動、認知症予防トレーニング、栄養、サプリメントなどについて実際に役に立つお話をします。次に実用化にはまだ時間がかかりますが、根本的な予防・治療法開発状況がどこまで来ているか、現在どの段階にあるかをお話します。さらにiPS細胞を使って失われた認知機能を回復させる夢のような方法の開発が着実に進んでいますが、iPS細胞についてわかりやすくお話します。講師の都合でiPS細胞の話を先になります。

このフォーラム参加者はこの参加を機に認知症予防に真剣に取り組むようになり、将来開発される根本的予防・治療法の開発に期待を抱かれるでしょう。

ご参考

【過去の本フォーラムの内容】

- | | | | |
|-----|-------|-----|---------------------------|
| 第1回 | 1998年 | 3月 | 「アルツハイマー病研究の現状」 |
| 第2回 | 2000年 | 3月 | 「経口摂取アルミニウムの吸収、代謝と人体への影響」 |
| 第3回 | 2002年 | 4月 | 「アルツハイマー病の予防と治療」 |
| 第4回 | 2004年 | 11月 | 「アルツハイマー病の予防と治療 その2」 |
| 第5回 | 2007年 | 4月 | 「老化と認知症：予防・治療の最新情報」 |
| 第6回 | 2009年 | 10月 | 「生活習慣と認知症」 |
| 第7回 | 2012年 | 11月 | 「生活環境と認知症」 |

参加申込用紙

「アルミニウムと健康」連絡協議会 行 (FAX:03-3538-0233)

第8回「アルミニウムと健康」フォーラム参加申込書

2015年 月 日

ご氏名*			
所属			
住所*	〒		
電話			
年齢		性別	

*必須記入項目 (参加証郵送のため)

会場案内図 (駐車場がありませんので自家用車でのご来館はご遠慮ください。)

星陵会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2 TEL03(3581)5650

